

## 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		平成30年5月23日	受理者印
		午前	4時 5分 受理
		午後	
議会名	平成 30 年 第 2 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 22 番	氏名	春山 敏明
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1, 国土強靱化地域計画策定事業について (1) 国土強靱化地域計画策定の考え方について	<p>① 法には、策定義務は無いとしているが策定をすることにした理由について伺いたい。</p> <p>② 法には、地域計画で定める事項について、具体的な定めは無いとしているが「国の基本計画との調和を保ちつつ、地域特性を十分に考慮されることが望まれる」と、第4版・国土強靱化地域計画策定ガイドラインにある。本市は、こういったことを「地域特性」として定める考えか伺いたい。</p> <p>③ 現段階で、国土強靱化を推進する上で対象とする施策分野の考え方を伺いたい。</p> <p>④ 策定主体は、本市単独のものとするが、市外のこと視野に入れて地域計画を策定することもありえるのか伺いたい。</p> <p>⑤ 住民、経済団体、民間事業者、他の地方公共団体、国・県等の関係者との連携・協力による取組も必要とガイドラインにはあるが、どう考えるのか伺いたい。</p>		
(2) 国土強靱化地域計画における本市の重要計画との関連について	<p>① 本市の最上位の計画である「第2次佐野市総合計画」との関連について伺いたい。</p> <p>② 本市には、以前より似通った内容の「佐野市地域防災計画」が策定になっているが、この「佐野市地域防災計画」及び「佐野市水防計画」との関連について伺いたい。</p>		

(3)策定体制の考え方について	<p>③ 同じく、「佐野市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関連について伺いたい。</p> <p>④ 同じく、「各インフラ長寿命化計画」等との関連について伺いたい。</p> <p>① 本市における庁内の策定体制について伺いたい。</p> <p>② ガイドラインには「維持・早期回復が必要な(強靱化すべき)重要な機能を念頭に置きながら担当部局が中心になって、例えば『地元組織』『民間事業者』、市においては、県・国の地方支分部局など、強靱化連携・協力をしながら推進すべき主要な主体を決める」としているがこれをどう考えるのか伺いたい。</p> <p>③ 市民の参加や専門的情報ノウハウを有している人々の協力について伺いたい。</p> <p>④ 今後の策定スケジュール及び完了期限について伺いたい。</p>
<p>2, 新水道ビジョン策定について</p> <p>(1)給水人口・世帯数の変化の影響について</p>	<p>① 「佐野市人口ビジョン」よりの人口減少の影響を事業経営として、どのように考えるのか伺いたい。</p> <p>② 将来の水需要をどのように見込んでいるのか伺いたい。</p> <p>③ 人口減少による料金収入の見込み「財政基盤」の見通しについて伺いたい。</p>
(2)今後の施設更新等について	<p>① 施設の老朽化対策について伺いたい。</p> <p>② 人口減少を見据えた「計画的な施設整備」について伺いたい。</p> <p>③ 団塊世代の退職による技術の継承等、組織体制維持のための将来見通しについて伺いたい。</p>

(3)課題克服のための「新水道ビジョン」策定について

- ① 新水道ビジョンでは、「戦略的アプローチによる方策推進」として「持続」「安全」「強靱」を挙げ課題解決のための基本的な取組として、施設の再構築等を考慮した「アセットマネジメント」の実施、並びに「耐震化計画」等の策定が必須事項としているが、そこでまず、本市の資産管理「アセットマネジメント」について伺いたい。
- ② 課題解決のための基本的な取組としての「耐震化計画」について伺いたい。
- ③ 国が示した「新水道ビジョン」には、「持続性」「安全性」「強靱」の観点に留意しつつ50年、100年先を見据えた地域の水道の基本理念及び理想像がある。こういったことを踏まえてどういった「新水道ビジョン」とするのか伺いたい。